

NPO法人 町田ハンディキャプ友の会

〒194-0013 東京都町田市原町田4-24-6

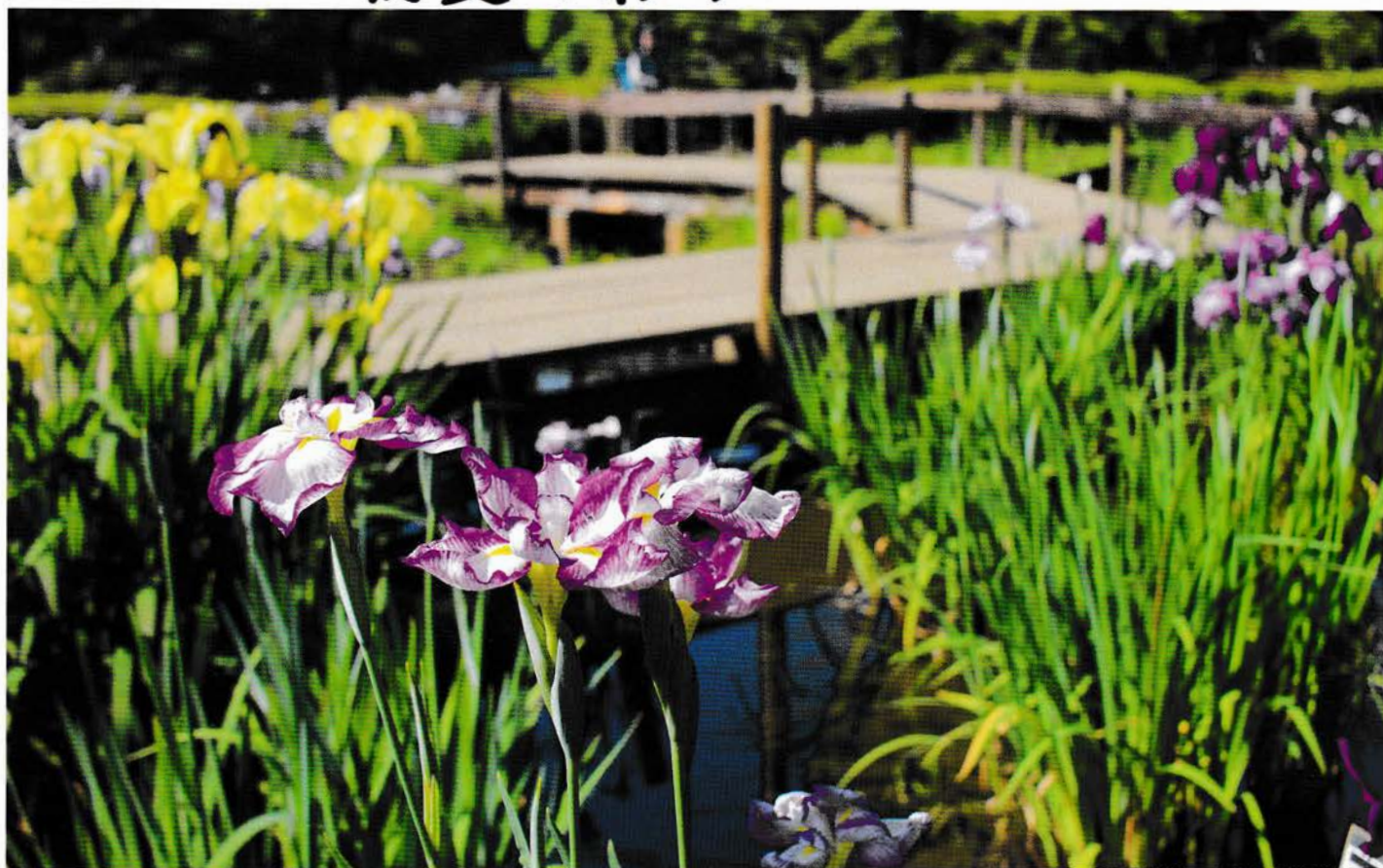
Tel : 042-721-5721 Fax : 042-721-6605

mail : mcdhcb@yahoo.co.jp

第71号 発行責任者 石井 章夫

発行日 2025年7月1日

初夏の彩り～水面に咲き誇る花菖蒲～



撮影地：薬師池公園

安全で安心して利用できる

移送サービスを目指して

理事長 石井 章夫

5月17日(土)の総会において、「事業計画」「収支予算」が承認され、私たちの活動がスタートしました。今年度も運転協力会員による安全運転と定期的に行われている情報交換、車両整備によって「安全で安心して利用できる移送サービス」を目指していきます。

昨年度には、警察署員による研修を行い交通安全の知識を深めることができました。

私たちは、歩行の困難の方に対しての「移送サービス事業」と施設や店舗等のバリアフリー環境をまとめた「町田市バリアフリーマップの作成・管理事業」を行っています。今年度は、町田市の福祉総務課や地域サポートオフィスと連携して車いすで歩く「まち歩きイベント等」を計画しています。具体的になりましたらお知らせしますので皆様方の参加をお待ちしています。

町田ハンディキャプ友の会は、これからも活動を通して「福祉のまちづくりの推進」を図ってまいりますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

総会の報告

5月17日（土）、せりがや会館において2025年度の総会が開催されました。町田市から金子福祉部次長、町田市社会福祉協議会から神田事務局次長に來賓としてご出席いただきました。結果については次のとおりです。

2025年度 町田ハンディキャブ友の会総会議決結果

議案及び結果

第1号議案

2024年度事業報告

第2号議案

2024年度決算および監査報告

第3号議案

2025年度事業計画（案） 賛成18 反対0 無効0

第4号議案

2025年度予算（案） 賛成18 反対0 無効0

第5号議案

役員の改選

（※総数21名 書面表決10 出席8）

すべての議案について可決されました。



総会の様子

また、理事の改選（任期2年）も行われ、承認されました。

理事

敬称略

阿部 弥生	（再任）
石井 章夫	（再任）
井上 廣美	（再任）
川上 一三	（再任）
小竹 金次	（再任）
高橋 池鶴子	（再任）
松本 光明	（再任）
渡部 忠宣	（再任）

監事

鈴木 賀寿彦	（新任）
小山 剛弘	（再任）

活動報告

◎運転者講習会

3月15日（土）、せりがや会館において、運転協力員を対象とした、講習会を行いました。

町田警察署交通総務課の職員の方を講師にお招きし、町田市の交通事故状況や交通安全講話を伺いました。

町田市は交通事故発生件数が、警視庁管内で一番多いそうです。講話では、日常の運転中に潜む危険なシチュエーションを考えたり、紛らわしい標識を確認したりと、今後の安全運転に留意する内容でした。



運転手と理事の親睦昼食会

また、講習会後は運転手と理事を交えての昼食会を行ない、親睦を図りました。

参加した運転手からは「講習を終えて、より一層、安全運転に努めようと思う」との声があるなど、有意義な時間となりました。



危険の予測を映像を使って学びました

ドライバーのつれづれ日記



志村 靖彦

定年退職して、十数年が経ちました。現役の時は、市民の為に一生懸命働きましたが、退職後は余生を自分の思うように過ごしたいと考えております。しかし、いろいろと世の中の柵があり、世間とお付き合いをしていかなくてはなりませんので、思うようにいかないことも多々あります。そうした中で、少しでも自分のやりたいことをやろうと、30数年前に乗っていたバイク（原付のスクーター）をチューニングしたり、自分の愛車を軽トラに替えたりして楽しんでいます。昔から車の運転が好きで、免許も大型二種まで取りました。ハンディキャブの運転手になったのも、その辺のところがあったのかなと思います。

ところが、70歳を過ぎて免許の更新をしようとしたところ、ドライビングスクールへ行き、高齢者講習を受けなければなりません。それも講習料8,000円も支払って受講しなければなりません。なんとも年金生活者には手痛いことです。日々の生活の中で運転は欠かせないものなので、止む無く高額な受講料を払い、免許書換え手数料2,800円を払って更新しましたが、何か腑に落ちません。確かに巷では、高齢者の事故が多数報道されていますが、70・80歳でもきちんと運転している人もたくさんあります。講習を受講するのは構いませんが、8,000円の受講料は何かかならないものでしょうか。少子高齢化で、世間の目は若い人に向きがちですが、年寄りもしっかり頑張っているんです。ある議員さんが、若者・現役世代の味方と書いたチラシを持っていたが、年寄りの味方にはならないのでしょうか。こんな僻んだ感情を持っているのは私だけでしょうか。このような世の中ですが、それでもあと数年間、生きている内は一生懸命生きて行こうと思います。



立派なビワの木と実



事務所のあるせりがや会館の周辺は、せりがや公園はじめ、たくさん緑にあふれています。せりがや会館の一角にはビワの木があり、この時期は毎年ビワの実がたくさん実ります。今年も鳥たちと争いながら収穫しました。



会費納入のお願い

町田ハンディキャプ友
の会は、皆様の会費で運
営されています。

今年度の会費を同封の振込用紙にてお支払いくださいようお願いいたします。

◎会員資格の喪失について
規定により「継続して3年以上会費を滞納したとき」は、会員の資格の喪失となりますので、ご承知おきください。

◎サングラスの着用について
視界確保と目の保護のため、サングラスを着用する場合があります。ご理解くださいますよう、お願い致します。

事務局だより

《今号の表紙》

薬師池公園の花ショウブ

薬師池公園内にある菖蒲田の花ショ
ウプが見頃をむかえていました。黄
色や白、青、紫といろいろな種類の
花ショウプを楽しむことができます。

(撮影：6月5日)

シリーズ・ことば

(谷川俊太郎に魅せられて)

Nabe.

おだやかに流れる河
こうべを垂れて
見送る木々

赤茶けた堀に沿って歩いた
影法師になって
町まで

かたちあるものを
大気に
溶かしたくて
言葉あるものを
静けさに
返したくて

夕闇のベッドで
眠りを
待つ

「影法師」 (2024.11.13没。合掌)

——谷川俊太郎の世界に迷い込んだまま、
未だたどり着くべき己が墓標への
あてどない旅の途中だ——



《編集後記》

8月や、
6日、9日、15日
(詠み人知らず)
今年もまた祈りの季節が
やって来る。

負の連鎖で世界が混沌と
している。
地球規模の気候変動がも
たらす想像を絶する自然災
害——世界のあらゆる場所
で頻発する地震、太古から
の神秘的な氷河の解氷、の
みこんだ総てを焼き尽くす
山火事——等々。
人間の尊厳を奪い、無辜
の命を奪い続ける戦争と、
その戦争のなかに独善的な
快楽を求めて酔いしれてい
る限られた独裁者の群れ、

また広島、長崎の8月が
やってくる。
80年前、世界全体が心
に血を吐く悲しみのどん底
から、恒久平和へ誓いをた
てたのではないかったか
「世界（のなかの、それこそ
「読点（とうてん）」ほどにも
ならぬ“ハンディキャブ友
の会”の存在はあるが、
しかし求め続ける平和への
たゆまぬ真摯な取り組みは、
いつかはその世界をも席卷
する。

(2025.7月広報子一同)